

新年のごあいさつ



湖南市議会議長
加藤 貞一郎

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えることと心からお祝い申し上げます。
平素より、湖南市議会に対しましては温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、議会を代表して心よりお礼申し上げます。
現在、本市においては、急速な少子高齢化の進行の下での福祉施策の充実や安心安全なまちづくりを推進するための防災対策など、市政をとりまく課題は複雑多様化しています。
そうした中、魅力あるまちづくりを推進するためには、議会と行政が互いに知恵を出し合いながら市民参画の市政運営に取り組まなければならないと考えています。
新たな年を迎え、議会といたしましても、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに市議会の活性化と、議会改革の取組を果敢に進め、市民の皆さまが安全で安心して暮らせる、「住んでよかった」と喜んでいただけるまちづくりが実現できますよう、二元代表制の一翼を担う市議会として、審議・議決機関としての機能を最大限に発揮し、議員一人ひとりがその役割、責任を自覚し、議員一丸となって市政の推進に尽くしてまいります。
市民の皆様方には今後とも、なお一層の御支援、御協力を賜りますとともに、本年が、市民の皆様にとりまして、穏やかで幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



湖南市長
谷 畑英吾

あけましておめでとうございます。
輝かしい初春をご壮健にてお迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は市政の各方面でご理解とお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。
昨年は、4月に十二坊トレイルラン&ウォークに市外から多くの参加者がありましたし、みらい公園湖南内に開業したHATでおしゃれな空間が提供されるとともに、ここびあでの秋の収穫祭では大勢の来客がありました。9月には本市の多文化共生の取組がブラジル大使から表彰されましたし、10月から幼児教育・保育無償化と養育費の保証促進補助金も始まり、子育て環境の改善を進めています。12月にはJR三雲駅周辺整備事業完成記念式典を執り行いました。
令和2年は庚子の年です。庚は進化を意味し、子は十二支の最初で陽気が動き始めるとされることから、これまでの取組の先に更なる変化と繁栄が訪れる年とも言えます。
今年の湖南市は、子ども・子育て支援事業計画や産業振興戦略プラン、複合庁舎整備実施設計などを取りまとめ、新たなフェーズに移ることになります。中学校区ごとに子ども家庭総合支援拠点を創設し、環境未来都市としての挑戦も続けてまいります。引き続き、市民の皆様のご協力をお願いします。

